

平成27年度

まち・ひと・しごと創生に係る
地域振興審議会意見

佐伯市における「まち・ひと・しごと創生」の取組について、旧市町村単位の設置している地域振興審議会に対して意見を伺った。

いただいた意見について、各地域振興審議会ごとに一覧化し、その上で意見内容によって分野別の整理を行った。

平成27年10月

秘書政策課

地域振興審議会意見(分野別整理)

各地域振興審議会から出された意見を分野別に整理すると以下のとおり。

総合戦略	分野	各地域振興審議会	内容
全体	全体	佐伯地域振興審議会	市と市議会が連携し、よりよい施策の検討を望む。(市発展のため意義ある議論を望む)
		佐伯地域振興審議会	他市・他県の成功例を検証し、それを活かしていく必要がある。
		鶴見地域振興審議会	地域審議会委員の総意として、人口推移に対する佐伯市案について、現実をもっと厳しく、目標実現のためにはさらなる努力を続けてほしい。
		米水津地域振興審議会	このたたき台に準じた施策ができるかできないかというのが問題ではないか。
		米水津地域振興審議会	施策としてやるかやらないかというのが問題で、やる可能性が非常に薄い。最後の言い訳は、いや予算がない。ほんとにやるのか。施策つくったら予算額も示してほしい。
	組織	上浦地域振興審議会	振興局にどこかの部署を持ってくる等市役所の仕事の分散をする、町村時代大企業であった役場から30~40人が本庁に行ったら、必然的に地域から離れてしまう。企業がなくなったのと一緒。
		米水津地域振興審議会	振興局のあり方が色々問題視されている。逆転の発想で、各振興局に10人ずつ職員をわり振ってやってみたらどうか、そういうふうなことが、地域の活性化にすごく寄与するのではと思う。だからよりどころになるように職員が今の職員プラス10人ぐらいが、本庁から元に戻り、原点にかえったようなかたちをすると、地域の活性化というのも進むかもしれない。
		米水津地域振興審議会	地域のストックってというのは、そのある意味では行政職員ではないか。
		米水津地域振興審議会	地域のストックを有効活用するとは別に人財の増員による有効活用。人財を増員し有効活用するという項目を盛り込むべきだと思う。
基本目標1	子育て	佐伯地域振興審議会	女性が働きやすい環境づくりが必要である。(延長保育や児童クラブの拡充)
		上浦地域振興審議会	託児所・保育所がない。安心して子どもが育てられる場所を確保を。
		上浦地域振興審議会	社協(児童クラブ等)は5時までしか預けることができないので仕事の制限がでてくる。預かりの延長をしてほしい。
		上浦地域振興審議会	幼稚園の園児も減っている。空きスペースで幼児保育ができないか。
		弥生地域振興審議会	家庭環境の変化に伴い、核家族化が進んでいる。女性の社会進出を促すためには、安心して子供を預けて働けるような環境づくりが必要となるため、夜間土日保育の受入など核家族世帯が必要としている支援策を行なってほしい。また、第2子からの保育料無料化など、子供が増えた場合の経済負担を軽減する制度の導入も検討してもらいたい。
		鶴見地域振興審議会	結婚の促進・保育所入所について弾力的運用
		米水津地域振興審議会	「出産と子育ての希望をかなえる」が一番重要なところだ。子どもを生んだ後のお母さんたちが、佐伯市でいかに働ける環境にあるのか。そこが一番重要ではないか。子どもが生まれなければ、人口減少につながることは間違いではないし、若い人たちを市外に出さないためにはどうかするのが、必要ではないか。
		米水津地域振興審議会	どれもお金の出し方が少ないんです。若者が地域に残るっていうことは、就労保証が1番だと思う。就労保障といっても、それを具現化することが大事である。言っているだけで全然就労できなくなり、ふるさとをあとにする人も多い。だからこういう人がいるからこういうところを積極的にするべきだと思う。それと、妊娠・出産・子育て支援のサービスとか、お金をもっと出さないといけない。出産費無料など。保育所・幼稚園、学校の色んな施策(授業料免除など)を積極的に行えば、佐伯市は、そういうところがものすごく保障されているから米水津で子育てしよう米水津に帰ってこようというアピール等をしていくことが必要。こういう目的、シミュレーションをしても、米水津をあとにすると思う。
		蒲江地域振興審議会	基本目標1における個別目標2「地域全体で子育てを支える」のKPIに、学校教育の指標だけでなく、社会教育の面も取り入れるよう検討して欲しい。
	女性活躍	上浦地域振興審議会	女性の流出を防ぐためにも女性の働く場が必要。
	出会い	上浦地域振興審議会	婚活、お見合い番組の開催等
		直川地域振興審議会	若い世代の婚活の推進

基本目標2	移住・定住	佐伯地域振興審議会	空き家対策と災害に強い佐伯市をアピールし流入人口を増やす施策が必要である。
		上浦地域振興審議会	交流人口も良いがやはり定住人口を増やすべき。
		上浦地域振興審議会	雇用の場があっても住む場所がないと他所に行ってしまう。空家情報の収集・提供、空家の活用は絶対必要。
		上浦地域振興審議会	居住できる家の確保ができない現状。仏壇がある、盆正月に帰る等の理由。
		上浦地域振興審議会	2階に荷物を置き、1階を貸すという方法もあるのでは。
		上浦地域振興審議会	子育て世代に安価に、下の階を気にしないでいい1軒家を貸せれば良い。
		上浦地域振興審議会	空家を貸す場合には手を加えないといけないので、リフォームなどの補助。
		上浦地域振興審議会	今はリノベーションが流行っている。古民家を借りて、自分でリフォームする人達も多くいるので、応援できれば良いと思う。
		弥生地域振興審議会	<p>●定住促進に向けた魅力ある制度作りについて</p> <p>合併前の市町村では、各自治体が定住促進に向けた独自の制度(出産祝い金や就職奨励金など)を制定し若者や移住者の呼び込みを行っていた。その自治体に住み続けることで得られる行政サービスやメリットは、定住を考える際に一つの条件となってくるため、近隣自治体と比べて魅力ある制度作りを行う事が必要。(定住促進住宅団地の整備や新婚生活応援金、介護のためのUターン支援金など)</p>
		直川地域振興審議会	地域へのUIJターンの促進
鶴見地域振興審議会	回遊性のある交通体系の整備・都会への地方のアピール		
米水津地域振興審議会	高齢者などが、元気で暮らせるところが1番最高だと思う。そういうところに若者も集まってくると思う。		
基本目標3	しごと	直川地域振興審議会	様々な分野における働く場所の確保
		米水津地域振興審議会	退職後の再雇用など、人材を活用する。やっぱり、仕事があるということは、色んなかたちでボランティア活動でもいいんだけど、そういう出会い、場所とか、仕事とかがあるというのは、やっぱりあの若さを保てると思う。
		蒲江地域振興審議会	雇用の場の確保に重点を置いて、計画を策定するよう検討して欲しい。
		佐伯地域振興審議会	第1次産業の支援が必要である。
		弥生地域振興審議会	<p>●「道の駅やよい」を中心とした地域活性化策と農業従事者の増加について</p> <p>「道の駅やよい」では、農業従事者の高齢化や減少によって出荷物を確保することが課題となっている。農業の新規従業者数を増やすことも大切だが、現在の農業従事者がより長く農業に従事できる仕組みや、かつて出荷を行っていた高齢者が再度農業に従事できるような取組、兼農家の新規就農支援などを行ってほしい。また、農林水産業の振興において、KPIを「新規就業者数」から「農林水産業従事者数」に変更し、農林水産業従事者の分母(総数)を増加させることで、地域資源の有効活用に取り組む政策を考えてもらいたい。</p>
		鶴見地域振興審議会	未利用魚の加工品・漁業で食べていける政策(補助制度等)を
		米水津地域振興審議会	どこから高齢化社会と呼ぶか。私たち60代70代はまだ若いと思う。退職したあとの再就職、再雇用っていうのを考えていかないといけない、思っている。そうしたときに米水津は、1次産業、2次産業をもっと充実させる必要があると思う。
		佐伯地域振興審議会	企業が来ない理由を紐解き、企業誘致を行い、佐伯で働ける魅力と、佐伯に戻って来れる環境づくりが必要である。
		上浦地域振興審議会	若い人達に、起業向けの補助金・助成金・安価な物件の情報提供等起業支援。
		弥生地域振興審議会	<p>●「企業誘致」による就業の場の確保について</p> <p>佐伯市への定住を促進するためには、就業の場を確保することが大切になってくる。「企業誘致」という言葉を盛り込んで積極的に政策を進めてほしい。</p>
米水津地域振興審議会	若い人が、定住できる仕事づくりというの必要ではないでしょうか。基本目標2個別目標2商工業の振興の項目に要望として就労場所の確保をとという表現を盛り込んでいただきたい。		
蒲江地域振興審議会	基本目標2における個別目標2「商工業の振興」の中に、地元業者の利用を図るとの表現を取り入れるよう検討して欲しい。		

基本目標4	地域	上浦地域振興審議会	緊急時にエリアの問題があり、近い津久見市の救急車や病院への搬送が利用できない。
		佐伯地域振興審議会	地域コミュニケーション力が低下しており、復活または向上させるための施策が必要である。
		佐伯地域振興審議会	佐伯市の特徴を活かしたイベントや、まちの特色を活かした施設等の活用の施策が必要である。
		上浦地域振興審議会	高速道路の津久見ICを東の玄関口として、津久見・上浦・佐伯(逆も)への周遊も考えるべき。
		上浦地域振興審議会	津久見市・四浦地区との連携、河津桜、津久見イルカ島から(へ)の人の流れ。
		上浦地域振興審議会	四浦半島を観光バスが1周できるように県道改良、上浦側にも河津桜の植栽。
		上浦地域振興審議会	豊後二見、暁嵐の滝、瀬会海岸の有効活用
		上浦地域振興審議会	浅海井駅周辺をレトロな感じにしたり、駅前に活力を出してほしい。
		弥生地域振興審議会	●スポーツ活動を活性化させる 弥生地域では町長杯や地区対抗競技など、地区民それぞれが参加して行うスポーツ大会が頻繁に行われていた。郡大会が無くなったこともあり、一般市民が気軽に参加できる大会が少なくなった。誰もが気軽に参加できるスポーツ振興支援を行い、活力あるコミュニティづくりを推進してほしい。
		弥生地域振興審議会	●区(行政区)の繋がりを大切にする 市町村合併により九州一広大な市となった佐伯市だが、広大な面積に反比例して、きめ細かい住民サービスは低下してきた。地域活力の根幹を為すものは区であり、区長を中心としたコミュニティ活動の活性化こそが佐伯市全体の活力を底上げするものである。区の繋がりを大切にし、そこに住む住民一人一人が積極的に地域貢献に関わるような施策と体制作りを行ってほしい。
		鶴見地域振興審議会	国が進めるコンパクトシティの考え方とは相反するが、地方で、小規模集落でいつまでも住み続けられるような政策を望む。
		米水津地域振興審議会	私たちはどうしてもこの地元である米水津の今後の推移が気になる。
		蒲江地域振興審議会	基本目標4の個別目標1において、中心市街地の活性化という表現があるが、その中に旧郡部の中心地域を含めた表現を取り入れるよう検討してほしい。
	蒲江地域振興審議会	浦々で生活する住民の身近な環境を整備することに重点を置いてもらいたい。	
	施設	佐伯地域振興審議会	佐伯市の特徴を活かしたイベントや、まちの特色を活かした施設等の活用の施策が必要である。
		上浦地域振興審議会	水産学部系の大学を誘致する。東雲中をキャンパス、大分県の水産試験場も研究施設として活用させてもらおう。小中は1校舎で足りる。
		上浦地域振興審議会	廃校舎の空き教室に光ケーブルを引きIT関連の事務所として貸せばよいのでは。
		上浦地域振興審議会	廃校舎跡地を利用して、大学のスポーツやキャンプを誘致したい。
	離島	佐伯地域振興審議会	第1次産業の支援と、離島の活性化に光を当てた施策が必要である。
その他	個別	佐伯地域振興審議会	チャレンジ事業について毎年同額を3年間補助するのではなく、もっと使いやすく効果的な活用ができるように見直すべきである。